

りゅうだいじ

龍臺寺本堂天井画を特別公開します

川崎市教育委員会では、普段は間近で見ることができない市域の文化財を、所有者の御協力のもと特別に公開しています。

今回は、高津区久本の龍臺寺において、昨年度保存修理が行われた本堂天井画や、川崎市地域文化財の木造隨身像を 10 月 18 日（日）と 19 日（月）に特別公開します。あわせて、川崎市地域文化財の龍臺寺の石灯籠を御紹介します。

【龍臺寺天井画特別公開】

- 1 期 間 令和 8 年 10 月 18 日（日）～19 日（月）10 時 30 分～15 時
(最終受付 14 時 45 分)
- 2 会 場 天台宗 龍臺寺（高津区久本 2-12-23）
(JR 南武線「武蔵溝ノ口駅」、東急田園都市線「溝の口」駅より徒歩約 10 分)
- 3 公開対象 龍臺寺本堂天井画、木造隨身像、龍臺寺の石灯籠（いずれも川崎市地域文化財）
- 4 申 込 み 不要、見学無料

●龍臺寺本堂は、明和 6（1769）年に建築された住宅風の仏堂です。堂内を区切る杉戸絵には、蓮池図が描かれ、本尊を安置する内陣には、天女図を掲げ、浄土に見立てた設えとなっています。当日は、普段は杉戸絵を取り外している本堂に、一部の杉戸絵を嵌め、本来の姿に近い状態で公開します。

●木造隨身像は、本来は、神社の神域を守る守護神像です。この隨身像は、久本村の正八幡宮に、龍臺寺の住職が発願して造立し、安置されたものであることが、像に残る銘文から分かっています。

●龍臺寺の石灯籠は、もと、久本村の鎮守であった正八幡宮に、当時、久本村の領主のひとりであった、旗本の長坂（ながさか）信（のぶ）俊（とし）が奉納したもので、正八幡宮とその別当（管理者）であった龍臺寺の関係がしのべられます。



龍臺寺本堂



龍臺寺の石灯籠



木造隨身像



膝裏墨書銘

問合せ先

川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課 久保
電話 044—200—3315 内線 51601

龍臺寺本堂天井画 特別公開



龍臺寺本堂は明和6（1769）年に建築された住宅風の仏堂で、堂内を仕切る杉戸には蓮池図、内陣天井には天女図が配され、内陣を浄土に見立てた設えです。

令和7年度に、天井画の修復を行ったことを記念し、普段は嵌めていない杉戸絵とともに特別公開します。

あわせて、龍臺寺の文化財を公開します。申込不要。見学無料。

〔と き〕 令和8年10月18日（日）・19日（月）
10:30～15:00 （最終受付 14:45）

〔ところ〕 高津区久本2-12-23 天台宗 龍臺寺
武蔵溝ノ口駅・溝の口駅から徒歩10分

〔公開対象〕 龍臺寺本堂、木造隨身像、龍臺寺石灯籠

（いずれも川崎市地域文化財）